

この木なんの木



番号	木の名前
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	

ルール

1. 番号がついている木をさがす (順番はどこからでも OK)
2. 木についている葉っぱや周りの落ち葉を観察する
3. 葉っぱの説明と実物を比べて木の名前を考える

注意

- ・木についている葉っぱはとらない
- ・道から外れて歩かない
- ・道をふさがない
- ・キャンプサイトに入らない

この木なんの木



<p>葉っぱの部分の名前</p>	<p>オオシマザクラ (大島桜) 葉の長さ 6~12cm 葉柄に毛はない。 葉柄にみつが出るぼちがある。 花と葉が同時に開く。 小さいサクランボのような実がつく。</p>	<p>ムクノキ (棕の木) 葉の長さ 3~6cm 葉の表面がザラザラしている。 木の表面は はい色っぽい。</p>	<p>アカマツ (赤松) 木の表面は赤っぽく、 カメのこうらのような模様がある。 はりのような葉っぱ。</p>
	<p>クスノキ (楠の木) 葉の長さ 6~12cm 葉は卵形で鋸歯はない。 もむと薬くさいにおいがする。 木の表面には タテにたくさんスジがある。</p>	<p>イロハモミジ (いろは紅葉) 葉の長さ 3~6cm 葉は大体 5~9つに分かれている。 5~11月はプロペラ型の 種がつき、じゅくすと 風によって飛んでいく。</p>	<p>ホオノキ (朴の木) 冬は葉を落とす。 葉はとても大きく、 顔の大きさぐらいいある。 殺きん効果があり、 昔は食べ物を包んでいた。</p>
<p>コブシ (辛夷) 葉の長さ 6~10cm 鋸歯はない。 8~9月に にぎりこぶし のような ごつごつした実をつける。 枝から出る冬芽は毛をかぶっている。</p>	<p>ヒノキ (檜) 葉のうら側に 白いYのもようがある。 木の表面はタテに さげ目がありはがれやすい。</p>	<p>コナラ (小楡) 葉の長さ 6~15cm 冬にはかれ葉が長い間 枝に残っている。 木の表面は白っぽい感じに見え たてに浅いさげ目がある。</p>	<p>シラカシ (白欒) 葉の長さ 5~12cm 葉は細く、小さい。 木の表面は はい色 (黒っぽい) で たてもようがあり、ザラザラしてる。</p>
<p>ムラサキシキブ (紫式部) 葉の長さ 6~13cm 葉は枝に2対ずつ付く。 木の高さは1m~2mぐらい。 秋にむらさき色の実がなる。</p>	<p>スギ (杉) 木はまっすぐのびる。 木の表面がタテにさけ、 はがれる。 葉は小さいはり型で、 らせん状に並んでいる。 花粉症のもと。</p>	<p>サンショウ (山椒) 葉の長さ 8~15cm 高さは1m~3mぐらい。 羽状複葉 (うじょうふくよう) と言い、図の形で1枚の葉っぱ。 枝にトゲがあるので注意。</p>	<p>クヌギ (栲) 葉の長さ 8~15cm 鋸歯が長い。 カブトムシなどが じゅ液に集まるが 大体スズメバチもいるので注意。 木の表面はコナラに似ているがスジが深い。</p>
<p>シロダモ (白だも) 葉の長さ 8~18cm 鋸歯はない。 葉の裏は白い。 さわるとサラサラする。 オスの木とメスの木で分かれている。</p>	<p>ウメ (梅) 葉の長さ 5~8cm 木の高さは2m~3mぐらい。 枝にはトゲのような小枝が多い。 春にサクラより早く花をさかせる。</p>	<p>キンギョツバキ (金魚椿) 葉の長さ 4~9cm 一年中葉がついている。 葉は金魚の形で 表面はテカテカしている。 人工的に作られた種類。</p>	<p>ソメイヨシノ (染井吉野) 葉の長さ 5~10cm 日本の代表的なサクラ。 葉柄に細かい毛が生えている。 花が散ると葉が出始める。 種ができず、接ぎ木でしか増えない。</p>